



ヴァレンタイン・サロン 2026

リコーダー

本村睦幸
手島ゆかり*

チェンバロ

中川岳

ヴァレンタインの日には、中野へどうぞ！



ロバート・ヴァレンタイン： リコーダーソナタ 作品2の6 ハ長調
リコーダーソナタ 作品3の11 ト短調
二重奏ソナタ 作品6の6 変ホ長調*
フランチェスコ・マンチーニ：リコーダーソナタ 第4番 イ短調
フランソワ・ド・プランクール： 組曲 変ロ長調（チェンバロソロ）

休憩なし60分のトークコンサート
同プログラム3回公演

昼 13:30 開演（13:00 開場）
夕 16:00 開演（15:30 開場）
夜 18:30 開演（18:00 開場）

各回20席限定・要予約 ¥3,800

2026年2月14日[土]

Space 415

中野区新井2-48-12
<http://space415.info/>

JR中央線／東京メトロ東西線
中野駅北口より徒歩12分

野方警察署近く、区立野方児童館の隣
「芦野」の表札がある入口を入ってすぐ右の建物の2階

■ご予約・お問い合わせ

デ・ルストホフ: lusthof.concerts@gmail.com
あしの: 090-6045-9311

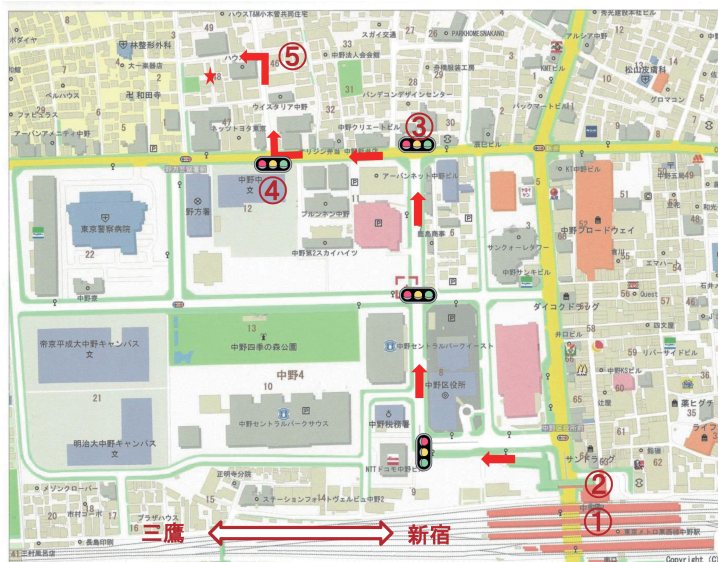
■ご予約フォーム

<https://forms.gle/g4PpVgZiSUFsgXS26>



中野の Space 415 で、トークを含め、休憩なし 60 分のプログラムを 1 日 3 公演行う「小さな室内楽」。40 席中 20 席限定で、お客様ひとりひとりと演奏者が挨拶を交わせる社交の場となるようなサロンコンサートです。毎年 2 月 14 日のヴァレンタインデーには、その名にあやかって、18 世紀のイタリアで活躍したイギリス人音楽家ロバート・ヴァレンタインの作品とそれに関連する作品を取り上げるプログラムで開催しています。今回は、リコーダーと通奏低音のソナタだけではなく、手島ゆかりさんとの共演で 2 重奏ソナタも取り上げます。また、中川岳さんのチェンバロソロは、中川さん自身がイギリスのヨーク大聖堂図書館で原典の写真を撮って来たというプランクールの作品です。日本初演であることは間違いのない新しいレパートリーです。少人数のお客様と演奏者で音楽を共有する場を楽しみましょう。

★ 約100m先左側(児童館手前)



- ⑤ 二本目の角を左折
(角切りに沿って)
- ④ 体育館の次の信号を右折
- ③ 中野体育館信号を左折
- ② 左手のエスカレーター
/階段を登る
- ① 中野駅北口下車
JR/東西線

Space 415
〒165-0026
中野区新井2-48-12
電話03-5380-2430

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura (リコーダー)

アムステルダム・スヴェーリンク音楽院卒。W.ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年にわたる活動を経て、2001 年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にとっての聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開し、2009 年に続き 2019 年の「東京リコーダー音楽祭」でディレクターを務めるなど、様々な方向からリコーダー音楽の魅力を発信している。リコーダーに本来の小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズや、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉を活動のベースに置きながら、各地でコンサート活動を展開しつつ「高田馬場リコーダー練習所」を運営してアマチュア活動のサポートにも熱意を傾けている。ワオンレコードより多数の CD をリリースし、各種の音楽配信サービスで聴くことができる (Mutsuyuki Motomura で検索)。2026 年 4 月には、ジュゴンボーイズとの共演による「コンセルによるゴルトベルク変奏曲」をリリースする予定 (リリースコンサートは 4 月 25 日、四谷の番町教会)。

高田馬場リコーダー練習所コーチ。デ・ルストホフ園長 (自称)。ホームページは、<https://mutsuyukimotomura.com/>

手島ゆかり Yukari Teshima (リコーダー)

群馬県高崎市出身。武蔵野音楽大学卒業後、リコーダーを吉澤実氏、本村睦幸氏、鈴木理恵氏、古楽アンサンブルを福岡彩氏に師事。2019 年東京オペラシティ近江楽堂にてリサイタル開催をきっかけに、主に地元群馬県を中心に演奏活動をしている。また地元の人たちにリコーダーの楽しさを知ってもらえたらという気持ちから「リコーダーアンサンブル交流コンサート」を企画し今年度で 13 回を迎える。

楽園のリコーダー合宿コーチ。高崎カルチャーセンター、おんきょう音楽教室講師。

中川岳 Gaku Nakagawa (チェンバロ)

バロック音楽と古楽器への関心から独学でチェンバロを始め、2014 年第 27 回国際古楽コンクール〈山梨〉で鍵盤楽器部門第 1 位を受賞。2016 年夏より 10 ヶ月間、ヴュルツブルク音楽大学 (ドイツ) で G. ウィルソンにチェンバロを師事。2018 年にはナクソスより CD「テレマン: 6 つの序曲 BWV 32:5-10」をリリースしている。2019 年に東京大学教養学部を卒業。現在は東京を拠点に、ソロ、通奏低音の両面で活動している。